

I. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 令和2年(2020年)1月1日)

	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
<b>高良野(西部)</b>	Zランク	Zランク
50年	ほぼ0%-0.05%	ほぼ0%-0.06%
<b>高田平野</b> (高田平野東縁)	S*ランク	S*ランク
経過率	0.07-1.5	0.08-1.5
<b>富士川河口</b> (ケースb)	S*ランク	S*ランク
50年	3%-20%もしくはそれ以下 (3.4%-17%)	4%-20%もしくはそれ以下 (3.5%-17%)
<b>庄川</b>	Zランク	Zランク
300年	ほぼ0%	ほぼ0%-0.001%
<b>有馬-高嶺</b>	Zランク	Zランク
30年	ほぼ0%-0.03%	ほぼ0%-0.04%
<b>六甲・淡路島</b> (主部/六甲山地南縁-淡路島東岸)	Aランク	Aランク
経過率	0.1-0.6	0.2-0.6
<b>中央構造線(根来)</b>	Aランク	Aランク
30年	0.007%-0.3%	0.008%-0.3%

■ Sランク(高い): 30年以内の地震発生確率が3%以上  
■ Aランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満  
■ Zランク: 30年以内の地震発生確率が0.1%未満  
■ Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)  
 算定基準日における地震後経過率が0.7以上である活断層については、  
 ランクに「\*」を付記する。

	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
<b>中央構造線</b> (石鎚山脈北縁)	Zランク	Zランク
300年	2%以下 (2.4%以下)	3%以下 (2.5%以下)
<b>中央構造線</b> (石鎚山脈北縁西部)	S*ランク	S*ランク
300年	0.005%-80%	0.006%-80%
<b>央道(鹿島)(ケース1)</b>	Zランク	Zランク
50年	ほぼ0%-0.005%	ほぼ0%-0.006%
<b>万年山-崩平山</b>	Zランク	Zランク
100年	0.02%以下	0.03%以下

※活断層評価備考

- ここに掲載しているものは、再計算等の結果、発生確率値の表記に変更のあったものである。
- 確率値は、有効数字1桁で記述している。ただし、30年確率が10%台の場合は2桁で記述する。
- 括弧「()」の値は、参考値として確率の計算値を表したものである。この値は有効数字1桁(または2桁)で示す確率値より、下位の桁の値を含んでいる。

II. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 令和2年(2020年)1月1日)

	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
<b>千島海溝</b>	III*ランク	III*ランク
超巨大地震(17世紀型) (M8.8程度以上)		
平均発生間隔	約340年~380年	
経過率	1.01~1.18	1.01~1.19
10年	2%~10%	2%~10%
20年	5%~30%	5%~30%
30年	7%~40%	7%~40%
40年	9%~50%	9%~50%
50年	10%~60%	10%~60%
100年	20%~80%	20%~80%
300年	40%~90%程度以上	40%~90%程度以上
<b>十勝沖</b> (M8.0~M8.6程度)	IIランク	IIランク
平均発生間隔	80.3年	
ばらつきα	0.38	
経過率	0.19	0.20
10年	0.1%	0.2%
20年	2%	2%
30年	9%	9%
40年	20%程度	20%程度
50年	40%程度	40%程度
100年	90%程度	90%程度
300年	90%程度以上	90%程度以上
<b>根室沖</b> (M7.8~M8.5程度)	III*ランク	III*ランク
平均発生間隔	65.1年	
ばらつきα	0.22	
経過率	0.70	0.71
10年	20%程度	20%程度
20年	50%程度	50%程度
30年	80%程度	80%程度
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

■ IIIランク(高い): 30年以内の地震発生確率が26%以上  
■ IIランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が3~26%未満  
■ Iランク: 30年以内の地震発生確率が3%未満  
■ Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)  
 算定基準日における地震後経過率が0.7以上である海溝型地震については、  
 ランクに「\*」を付記する。

	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
<b>日本海溝</b>	Iランク	Iランク
超巨大地震(M9.0程度)		
平均発生間隔	約550-600年	
経過率	0.01	0.01-0.02
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-4%	ほぼ0%-4%
<b>青森県東方沖及び 岩手県沖北部(M7.9程度)</b>	IIIランク	IIIランク
発生間隔	97.0年	
ばらつきα	0.11-0.24	
経過率	0.52	0.53
10年	0.001%-3%	0.002%-3%
20年	0.2%-10%	0.3%-10%
30年	5%-30%	6%-30%
40年	(5.1%-25%)	(6.4%-27%)
50年	30%-40%	30%-40%
100年	60%-70%	60%-70%
300年	90%程度以上	90%程度以上
<b>宮城県沖の陸寄りの地震 (M7.4前後)</b>	IIIランク	IIIランク
発生間隔	38.0年	
ばらつきα	0.1-0.24	
経過率	0.21	0.23
10年	ほぼ0%-0.08%	ほぼ0%-0.2%
20年	0.1%-10%	0.3%-10%
30年	50%程度 (50%-54%)	60%程度 (58%-60%)
40年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
50年	90%程度以上	90%程度以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

相模トラフ	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
次のM8クラス	IIランク	IIランク
平均発生間隔	180-590年	
経過率	0.16-0.53	0.16-0.54
10年	ほぼ0%-2%	ほぼ0%-2%
20年	ほぼ0%-3%	ほぼ0%-3%
30年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%
40年	ほぼ0%-8%	ほぼ0%-8%
50年	ほぼ0%-10%	ほぼ0%-10%
100年	ほぼ0%-20% (0%-24%)	ほぼ0%-30% (0%-25%)
300年	ほぼ0%-80%	ほぼ0%-80%

南海トラフ	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
M8～M9クラス	III*ランク	III*ランク
平均発生間隔	88.2年	
ばらつきα	0.20-0.24	
経過率	0.83	0.84
10年	30%程度	30%程度
20年	50%-60%	50%-60%
30年	70%-80%	70%-80%
40年	80%-90%	80%-90%
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

日本海東縁部	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
北海道北西沖 (M7.8程度)	Iランク	Iランク
平均発生間隔	3900年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.54	0.54
10年	0.002%-0.04%	0.002%-0.04%
20年	0.004%-0.07%	0.004%-0.07%
30年	0.006%-0.1%	0.006%-0.1%
40年	0.008%-0.2%	0.008%-0.2%
50年	0.01%-0.2%	0.01%-0.2%
100年	0.03%-0.4%	0.03%-0.4%
300年	0.2%-2%	0.2%-2%
北海道西方沖 (M7.5前後)	Iランク	Iランク
平均発生間隔	1400-3900年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.06	0.02-0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%
北海道南西沖 (M7.8前後)	Iランク	Iランク
平均発生間隔	500-1400年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.02-0.05	0.02-0.05
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-4% (ほぼ0%-4.4%)	ほぼ0%-5% (ほぼ0%-4.6%)

日本海東縁部	2019年1月1日時点の評価	2020年1月1日時点の評価
青森県西方沖 (M7.7前後)	Iランク	Iランク
平均発生間隔	500-1400年程度	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.03-0.07	0.03-0.07
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-6%	ほぼ0%-6%
山形県沖 (M7.7前後)	Iランク	Iランク
平均発生間隔	1000年程度以上	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.19以下	0.19以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%-0.1%	ほぼ0%-0.1%
新潟県北部沖 (M7.5前後)	Iランク	Iランク
平均発生間隔	1000年程度以上	
ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.05以下	0.06以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年	ほぼ0%	ほぼ0%
300年	ほぼ0%	ほぼ0%

※海溝型地震備考

- ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全てである。
- 水色で示した箇所が、再計算の結果、表記に変更のあったものである。
- 確率値は、有効数字1桁で記述している。
- 括弧「( )」の値は、参考値として確率の計算値を表したものである。この値は有効数字1桁で示す確率値より、下位の桁の値を含んでいる。